

古文書を読む会学習記録

作成日 平成25年4月30日

開催日	平成25年 4月25日	時 間	10:00 ~ 12:00
場 所	金沢地区センター小会議室	出席人数	11名
講 師	真田雅行氏	作成者	内田孝知
テーマ	第2学習 1. 大山詣請書 (大住郡戸田村 小塩家文書)及び 2. 大山寺縁起		
概要	<p>1. 差上げ申す一札の事 (請書)</p> <p>大山参詣の助郷・外村・人馬方・宿方に関する藤沢・戸塚両宿からの訴えでは、大山寺不動石尊への往来は藤沢・戸塚両宿の間の四ツ谷村より一之宮村、伊勢原村、子安村通りの「田村通り」が古来からの道筋で延宝4年(1676)の石碑が有るが、近年特に 6月下旬～7月中旬まで下柏尾村「柏尾通り」利用の参詣人の往来多くなったため、藤沢・戸塚両宿の助郷人馬・駕籠寄せに間に合わないことが多いとして両宿より善処方願い出があったので右道筋最寄村々を吟味した処、このほかにも下柏尾村より下長後・戸田・下柏尾・上粕谷・子安六ヶ村よりの大山道があり、また保土ヶ谷・神奈川・江戸辺りへの東海道の往還も有り、寛文10年(1670)と記す大山道の石碑もあって、四ツ谷道より柏尾道が格別に近年往来増えたわけではない。これは一ノ宮村、その外の村々申し口にも符号し、助郷・人馬方・宿方を往来に関して稼ぐために相対で雇ったわけでは無いので、藤沢・戸塚両宿出訴の趣は御沙汰に及ばない。ただし今後は最寄村々の者は大山参詣人のために人馬雇いは勿論、宿も往来に差支えない様互に助け合いのこと仰せつける。もし 背けば罰金を科すべし。</p> <p>以上承知御請け致しましたので下記関係者連名で御届け致します。</p> <p style="text-align: center;">江川太郎左衛門当分お預かり所</p> <p>安永七戌(1778)年五月二二日 東海道 戸塚宿 藤沢宿他17カ村名主・組頭 道中御奉行所様</p> <p>2. 大山寺縁起:</p> <p>相模の国国司 太郎太夫時忠は 家盛んで繁盛したが、40歳になるも子宝に恵まれないため、自ら如意輪の像を作り、一子さずけ給えと神仏祈願す。 (幸い子宝を授かり、この子が後に東大寺の良弁僧正になり、時忠と面会、相模国大山に登り、不動明王を彫り、守護を誓ったたという)</p>		
補助資料	大山詣と石尊大権現(神奈川県立公文書館 2010年度常設展示解説資料) 大山への主要参詣道地図 大山詣で物語(横浜銀行発行「マイウエーNo.81」)		
備考	1. 資料 にて「大山縁起」について説明		
次回予定	平成25年5月9日 10:00 ~ 12:00 於 金沢地区センター小会議室 第1学習 柴村斎田家文書		